

結腸切除術を受ける患者さんへ（経口抗菌薬）

想定診断群(DPC):060035

()様

主治医:

担当看護師:

NO1

月日	/	/	/	/	/	/	
経過	手術前日	手術当日		手術後			
		手術前	手術後	1日目	2日目	3日目	4日目
注射薬	・現在、内服している薬はすべてお知らせください ・必要な薬は継続し内服していただきます ・手術の前日14時と15時と21時に下剤を内服します(看護師が準備します) ・抗菌薬の内服をします	・午前手術では手術室で点滴を行います ・午後手術では午前中に病棟で点滴を行います	・持続で点滴を行います ・硬膜外や静脈から鎮痛剤の持続投与もされていますが、痛みが強い時はお知らせください ・適宜鎮痛剤を使用します	・食事がとれるまで持続で点滴を行います ・痛みが強い時は鎮痛剤を使用します ・水分が開始になれば持参の内服薬を飲むことができます ・昼～お腹を動かす漢方薬や整腸剤が始まります	・夜間の点滴がなくなります		・点滴が終了します
検査処置	・入院中はネームバンドでも本人確認を行います ・手術の前日は手術部位の除毛と臍部のそうじを行います	・(6・10)時に浣腸を行います ・排便は看護師が確認するのでお知らせください ・手術室に行く前に検査着(看護師が準備します)に着替えてください ・外せるものは全て外し、貴重品はセーフティーボックスへ入れるかご家族に預けてください	・帰室後は末梢持続点滴・酸素マスク・心電図モニター・腹部の管・尿の管・弾性ストッキングまたはフットポンプなどがつけられています ・必要に応じて看護師がはずしますのでご自分で管を抜いたりはずさないようにしてください	・病室で採血・レントゲン撮影を行います ・心電図モニター・酸素マスクをはずします ・尿の管を抜き歩きます		・採血があります ・放射線科ヘレントゲン撮影に行きます	
観察	・体温・脈拍などを測ります ・1日の排便・排尿の回数・食事量をお聞きします	・手術室に行く前に体温・脈拍・血圧等を測定します	・手術後は心電図モニター等を装着し頻回に体温・脈拍・血圧等を測定します ・全身の観察を行います	・適宜、体温・脈拍・血圧等を測定し、全身状態の観察を行います			
活動安静	・入院後は院内でお過ごしください ・活動制限はありません	・活動制限はありません	・手術後はベッド上安静です ・腕や、足を動かすこと、軽く寝返りができます ・手術後目が覚めたら足首の運動をしてください	・医師の診察後病棟内を歩行できます	・活動制限はありません ・日中は体を起こして過ごしましょう ・横隔膜を下げ深呼吸をすることで肺炎等の合併症を防ぐことができます ・歩行することで腸を刺激し、排便排ガスが出やすくなります ・夜間の睡眠を得ることができます ・早期離床することで静脈血栓症を防ぐことができます		
食事	・手術前日は昼食後より絶食です ・夕に栄養剤が出ます ・ただし、お茶、水、ポカリスエット等の具のない水分はしっかりとってください	・6時まで水分をとることができます	・絶飲食です ・口や喉の渇きがあればうがいができます	・医師の診察後より水分をとることができます ・朝から栄養剤がでます ・水かお茶を1日500ml程度ゆっくりと、飲んでください	・昼から流動食が始まります	・昼食より五粥食になります	・昼食より全粥食になります
清潔	・手術の前日、除毛・臍処置後に入浴(シャワー)し、爪切り・ひげ剃りをしてください	・手術後は許可がでるまで、シャワーはできません ・看護師が体を拭く等のお手伝いをします		・体を拭き前開きパジャマに着替えます	・ご希望に応じて清拭・洗髪を行います		
排泄	・制限ありません		・手術後は尿の管が入っています ・排便はベッド上で行います ・看護師がお手伝いします	・歩行ができたなら尿の管を抜きます ・その後、尿の量を測っていただきます		・制限ありません	
説明	・入院診療計画書・手術・麻酔について医師の説明があります()時予定		・手術後、患者様・家族の方に手術について説明があります	・毎日、医師の診察があります			
その他	・医師から説明をうけ了承されましたら、同意書、入院診療計画書を署名し医師または看護師にお渡しください <手術までに準備していただく物品> 紙おむつ(巻くタイプ)1枚 前開きパジャマ 1～2枚(あれば結構です) ・手術後の状態で「腹帯」「紙パンツ」「パット」等の購入をお願いすることがあります						

★病状によっては予定が変更されることがあります

イラストは医療者用CDロングイラスト集より転載

大阪市立総合医療センター 消化器外科

2024年1月作成

(11401-G)

結腸切除術を受ける患者様へ(経口抗菌薬)

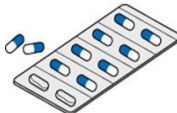
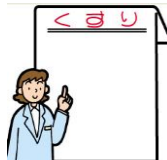
想定診断群(DPC):060035

()様

主治医:

担当看護師:

NO2

月日	/	/	/	/	/	/
経過	手術後					退院
	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
注射薬	・漢方薬や整腸剤は継続します ・水様便や頻回の排便がある時は漢方薬や整腸剤を調整します					・必要な退院処方をお渡しします ・預かっている持参薬はお返しします
検査処置	・採血があります ・腹部の管を抜きます (個人差があります)			・採血があります		 
観察	・適宜、体温・脈拍・血圧等を測定し、全身状態の観察を行います					
活動安静	・活動制限はありません					
食事	・昼食よりご飯食になります	 ・退院に向けて栄養指導を受けてもらいます				・退院後の食事制限はありませんが、消化に悪いものは避けるようにしてください
清潔	・腹部の管が抜けた翌日よりシャワーができます	・シャワー浴ができます				・退院後は入浴可能です
排泄	・制限ありません					・排便はできるだけ毎日出るように薬で調整しましょう
説明						
その他						・入院費用の精算ができましたらお知らせします ・看護師から退院の説明を受けた後1階で手続きを行って下さい

★病状によっては予定が変更されることがあります

イラストは医療者用CDロングイラスト集より転載